

映像×AIに データガバナンスを織り込む重要性

2025/03/04

セーフィー株式会社
佐伯 穂高



登壇者紹介
会社紹介
ソリューション紹介
データガバナンスに関する取り組み
さいごに

登壇者紹介

佐伯 穂高（さえき ほたか）

所属 セーフィー株式会社

営業本部 BU1 副部長

役割 映像×AIによる店舗の課題解決

経歴 DMM.com 事業開発

ランドスキップ 取締役

NTT西日本 ビジネス開発

会社紹介

About us



COMPANY



映像から未来をつくる
Create a better future with intelligent vision.

セーフィー株式会社

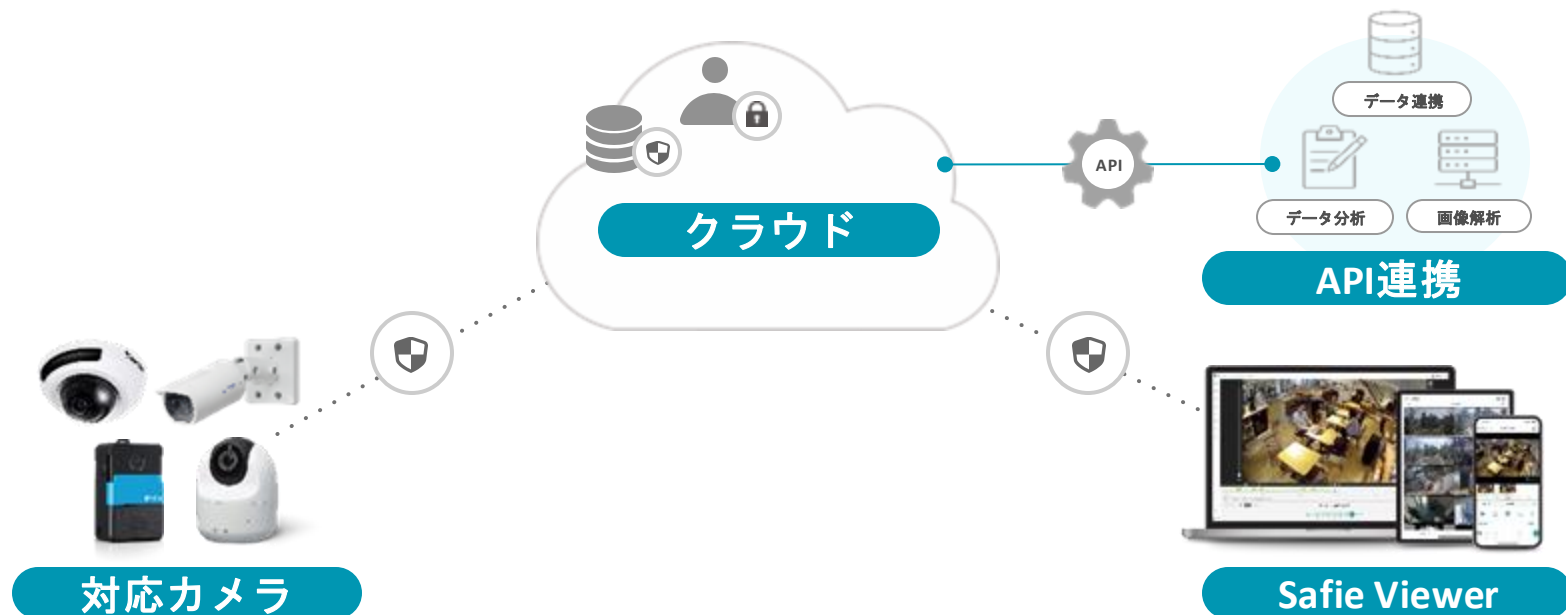
会社名 2014年10月23日

設立 社員数 480名（2024年10月時点）

従業員数 クラウド録画型映像プラットフォームの開発・
事業内容 運営およびサービスの提供

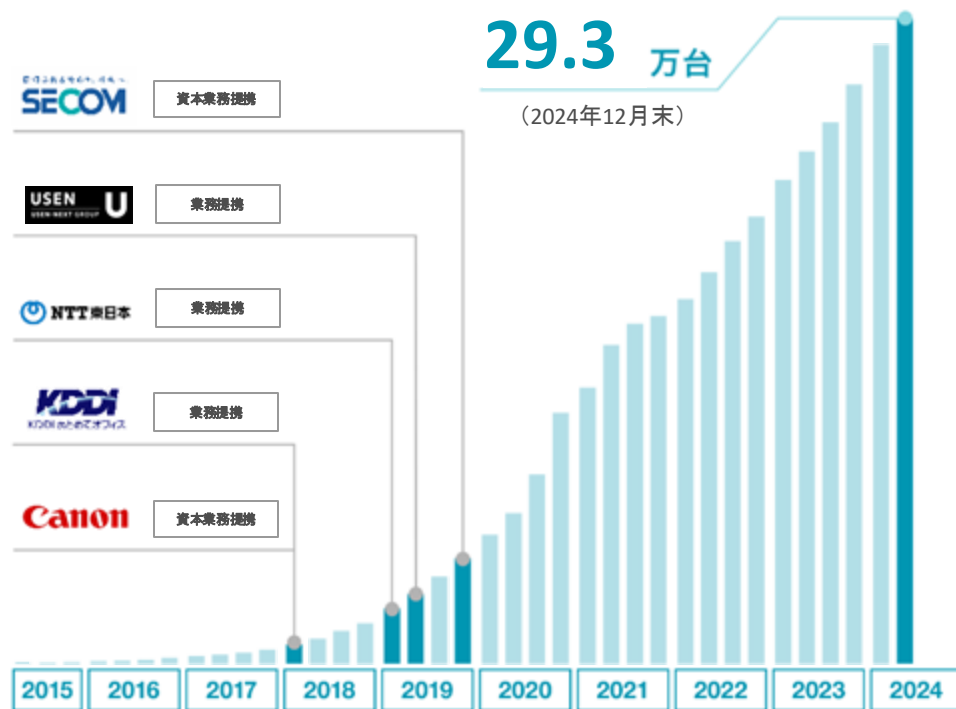
東京証券取引所グロース市場（証券コード: 4375）

いつでもどこにいても カメラの映像（ライブ・録画）を確認できる



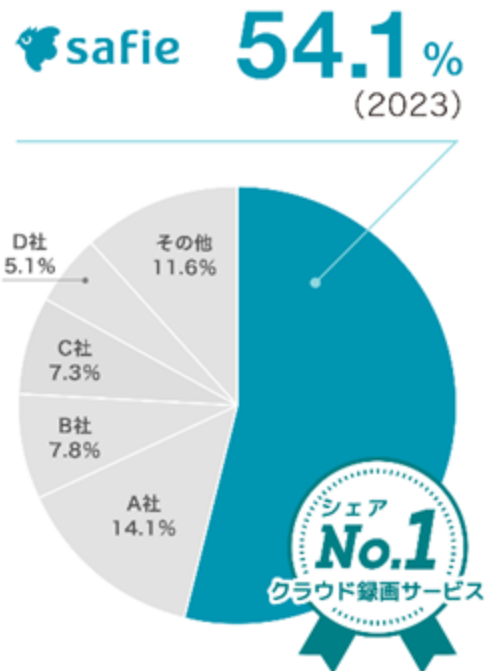
クラウド録画サービス シェアNo.1

課金カメラ台数および主な提携実績



マーケットシェア

クラウドモニタリング・録画サービスシェア※



主な導入実績

小売



飲食店 / サービス



建設



インフラ / 公共



製造 / プラント



警備



物流



オフィス



その他店舗等



社会のインフラである地域の店舗が 持続的にサービスを提供できる状態を作る

「8がけ社会」到来に備えたDX戦略 | AIカメラが切り開く次世代の労働環境

業務効率化

2024-12-10更新 (2024-09-30 公開)



国内の様々な調査によると、2040年頃には、日本の高齢化率が35%に達し、20～60代の労働人口が約2割減少すると予測されています。2024年の時点よりも深刻な労働力不足（2割減＝8がけ）が発生するという予測から、2040年頃を「8がけ社会」と呼び、備える動きが始まっています。

映像とAIで店舗の省人化を推進する

業務効率化



遠隔マネジメント
遠隔接客

セキュリティ強化



現場の安心・安全
(防犯)

店舗情報の取得

来店者数等の統計分析



棚割り、仕入改善
商品戦略

ソリューション紹介

過去映像から検知対象の検索や 再来店時の通知を行うAIソリューション



人物検出

AIカメラで検出した人物
の画像/映像を閲覧



人物検索

登録した人物の
過去来店履歴を検索

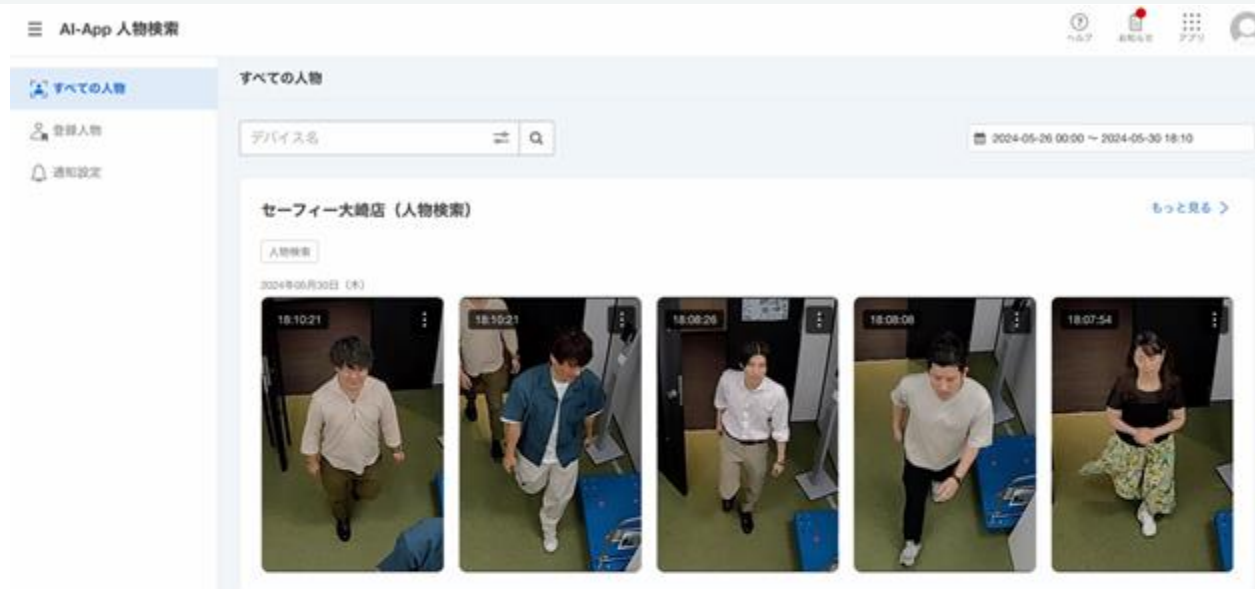


通知

登録した人物をAIカメラ
で検知し通知



AI-App人物検索 | 実際の画面



手軽に導入、手軽に変更 フレキシブルに運用できる

初期費用



サーバー不要、カメラを設置するだけ

月額費用



月1万円/カメラあたりで利用可能

停止・再開



必要に応じて停止、再開ができるので
不要な投資を最小限に

移設



クラウドなのでカメラだけ移設すれば
他店舗での流用可能

複数運用



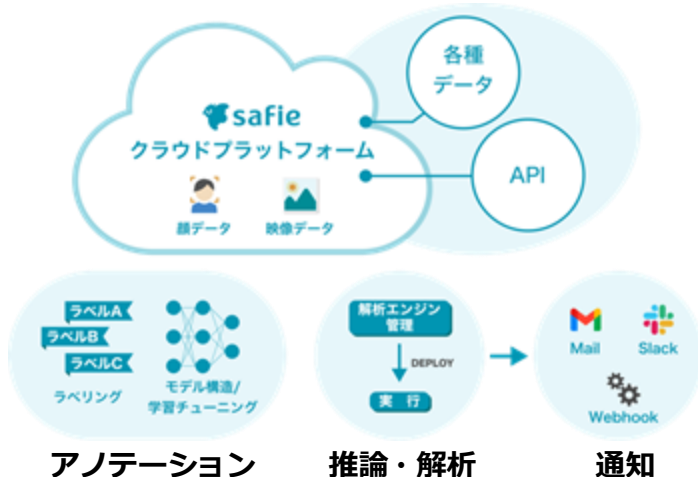
全ての店舗の顔情報はクラウドで集中管理

データガバナンスに 関する取り組み

- 創業時よりIoT(クラウドカメラを含む)のセキュリティ/ガバナンス課題を意識
- 当社PFへの期待として、映像データの適正な取り扱いが強く求められると認識
- 適正なデータ利活用を通じて社会課題を解決し、ビジョン「映像から未来をつくる」を実現

セーフィープラットフォーム

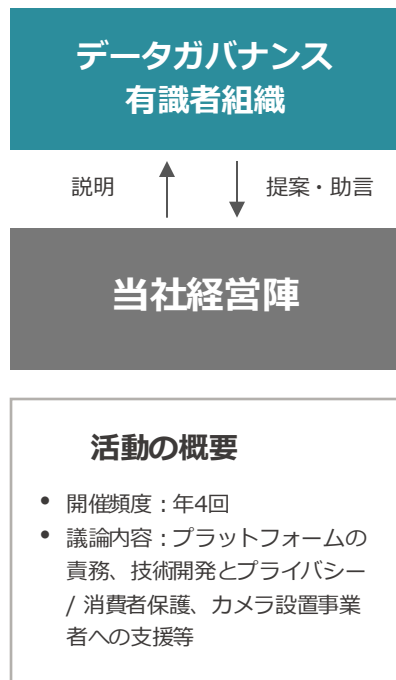
データ取得/システム連携/解析等の
データ利活用によるDXを**セキュア**な環境で実現



適正なデータ利活用を通じて
社会課題・顧客課題を解決



■ プライバシー / 消費者保護等の観点からプラットフォームの在り方を議論



有識者委員（敬称略）



山本 龍彦

慶應義塾大学大学院法務研究科
（法科大学院）教授



岡田 淳

森・濱田松本法律事務所 パートナ
ー
当社監査役



岩田 彰一郎

株式会社フォース・マーケティング
グランドマネージメント
代表取締役社長 当社社外取締役



寺久保 朝昭

キヤノンマーケティングジャパン
株式会社
ソリューションデベロップメント
センター センター長



小松原 康弘

セコム株式会社 IS研究所
企画グループ 主務

■ 委員会で議論した基本理念を「セーフィー データ憲章」として策定・公表(2022)

セーフィー データ憲章(抜粋)

私たちセーフィーは「映像から未来をつくる」というビジョンのもと、誰もが活用できる映像プラットフォームを提供しています。私たちの目指す姿は、映像によってこれまで見えなかった課題を可視化し解決することで、安心・安全な社会作りに貢献することです。セーフィーのプラットフォームを皆様に安心して利用いただき、目指す姿である安心・安全な社会作りへの貢献を実現するためには、データの適切な取扱いが必要不可欠であると考えています。映像データが不適切に取り扱われるようなことがあれば、個人のプライバシーへの影響はもとより、監視社会への懸念、差別や偏見の助長、ひいては民主主義などの私たちの社会の根幹を成す価値観への脅威にも繋がりがかねません。

以上の認識のもと、私たちの目指す安心・安全な社会作りの実現に向けて、遵守すべき行動原則として本憲章を定めました。私たちは、ステークホルダーの皆様との双方向でのコミュニケーションに努め、協力してデータガバナンスの実現を目指します。

本憲章は、私たち自身が遵守すべき指針であることはもとより、プラットフォームを利用されるお客様やパートナー等のステークホルダーの皆様にも、本憲章へのご理解とご協力をお願いしたいと考えております。本憲章の内容についても、多種多様なステークホルダーの皆様との継続的な対話も経つつ、社会環境の変化や技術革新もふまえて継続的に検証し、必要に応じ改善を行っていく所存です。

■ カメラ設置事業者向けに利用ケース別の配慮事項等を発信

- 例：カメラを設置する際は①利用目的の特定 ②通知・公表 が必要
- 例：屋外に設置する際の留意事項
- 例：リピート分析を実施する際の留意事項



顧客の現場課題を解決するために、
『映像×AI』の進化を続けていきます



ご清聴ありがとうございました

Thank you!